

第3回 松戸市環境未来会議「副市長挨拶 文字起こし」

日 時：令和5年12月17日（日）13：00～16：30

会 場：松戸市民劇場 第2・3会議室

副市長挨拶 文字起こし

石和田副市長

皆さんお疲れ様でした、副市長の石和田です。

3回に渡りご議論いただきまして本当にありがとうございます。

このような市民の皆様にお集まりいただき気候問題について話し合う場は、我々にとっても初めての取り組みでありました。

心配なところもありましたが、皆様、熱心にご議論いただき、想像以上に活発な意見が出ていたことから、本当にやってよかったと感じております。

中でも説明しましたが、昨年の4月に松戸市はゼロカーボンシティ宣言を行いました。

これは政府も掲げており、2030年までに実質ゼロにしようという宣言です。

この宣言は、半分にするといったものではなく、ゼロにするという大変な宣言であります。

市長も力を入れ、実現に向け取り組みを考えておりますが、本当に悩ましい問題であります。

また、市長からは「行政だけで取り組むことは絶対に無理であり、50万人の市民一人一人が、意識持って取り組んでいかなければこの宣言は達成できない。市民の方を巻き込んだ仕組みを行う必要がある。」という話がありました。

このようなお話から、この会議にたどり着いたというような経緯がございます。

そして、先ほども申し上げましたが、本当に我々が予想していた以上に熱心にご議論いただき有意義な提案をいただいたと思っております。

今回の提案を活かし、市民行動プランとして発表し、市民に働きかけていきたいと考えています。

また、これで終わりではなく、こうした市民の皆さんが参加できる仕組みというのを今後引き続き行いたいと考えております。

また皆様にはご協力いただければ幸いですと考えております。

それから、市民の皆様にも全部やってもらうということではなく、行政でもしっかりとやるべきことをやっていかないといけないと考えております。

今現在、説明にもありましたが、公共施設にいかにか太陽光発電を整備していくのかということが予算上の問題も含め一つ大きな課題となっております。

そのような中、松戸市では来年度からPPAということで、電気事業者の負担で太陽光発電

を公共施設に載せていくというような事業を検討しており、避難所になるような公共施設すべてを対象に太陽光発電を設置する取り組みを始めたいと考えています。

先ほど説明したような太陽光発電の制度や ZEH 住宅の補助など、様々な取り組みは我々から市民の皆様へ宣伝してまいります。

最終的には、行政からや市民からなど、バラバラではなく協力して進めていくことが大事であり、皆様の提案を受けて我々が発信する、我々の取り組みを皆様が互いの口コミ等で広げていただくなど、様々な協力のパターンで行政と市民が一体となって進めていきたいと考えております。

そのような協力ができれば、「松戸はすごく地球環境問題に熱心に取り組んでいる」という評価が広まり、環境に興味のある企業が松戸に集積していくということも期待できるのかなと思っております。

これが松戸だけでなく、他の周辺自治体に広がり、最終的に日本全国の CO2 削減に繋がればよいと思っております。

最後になりますが、参加していただいた皆様に心から感謝いたします。

それから、尾内教授、平野様、ご助言等協力いただきありがとうございました

ファシリテーターの皆様についても、スムーズに議論を進行いただきありがとうございました。

ぜひ今後も見守っていただき、松戸市のゼロカーボンシティの取り組みを応援していただければと思います。

3日間ご参加いただきありがとうございました。